

提言「鳥由来の新型インフルエンザ対策の再開・強化を求める」【概要】

2009年11月17日
(社)日本経済団体連合会

はじめに

◆豚由来の新型インフルエンザ(弱毒性)対策については、不確定要素も多く、試行錯誤が続き、医療や教育の現場に少なからず混乱を招いている。一方、鳥由来の新型インフルエンザ(強毒性)対策については、一部中断や遅れが発生。

◆鳥由来のインフルエンザ発生の蓋然性は依然として高い。日々の暮らしの安心・安全を担保するため、政府が早期に講ずべき、対策について、改めて提言。

<対策の具体的内容>

1. 国民全員の早期ワクチン接種を可能とする環境整備

ーワクチンの製造・供給・接種体制の早急な整備および最新の製造技術の確立ー

- ワクチンの有効性・安全性の評価の推進
 - 各業界の接種対象者数や接種手順なども含めた「ワクチン接種に関するガイドライン」の策定
 - 医療従事者や社会機能維持者をはじめとする全国民へのプレパンデミックワクチンの事前接種
- ⇒これらにより鳥由来の新型インフルエンザ発生時のパンデミックワクチンの全国民への早期接種を可能とする備えを整備

2. 新型インフルエンザ大流行時の法令の弾力的運用

- パンデミック時における法令の弾力的運用の具体的な方針を早期に明示
- 労働基準法が規定する時間外労働と休日等の扱いや、安全配慮義務について、政府の考え方を明示

3. 政府による適時・適切な情報の発信

- 政府の対応方針や感染状況、ウイルス特性、社会インフラの稼働状況等の情報を、国内外を問わず、より迅速・正確かつ一元的に公表
- 判断基準や科学的根拠の情報提供

4. 社会インフラの維持に関する政府想定を明確化

- 企業が策定している事業継続計画等の実効性を高めるため、流行規模・被害状況の段階毎に、社会インフラの稼働状況に関する想定を明示

5. 海外にいる在留邦人への配慮

- 在留邦人へ早期に正確な情報提供・指示
- 大使館等での抗インフルエンザウイルス薬の備蓄拡充